



広報

いずみざき

No.289

1991年
(平成3年)

8

月号

発行・編集 / 泉崎村役場総務課
福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字新宿2
TEL 0248-53-2111(代)

印刷 / 野木印刷所

平成3年8月1日

さおりちゃん の 古 代 人 の つ ち こ え が

さおりちゃん

「むかし、むかし、千三百年もむかし(ころ)では、お父さんたちはシカヤトリをとる仕事をし、お母さんたちはあのみずみ川で貝をとったり、おせんたくをしたりして、みんな仲良くくらしていました。そして、ここに住む人たちはとても心のやさしい人たちで、人がなくなると、一人でさびしからないように、なくなった人を入れる穴のかべにあかいせんで、馬にのってシカをとる人や、女の人やうずまきのようなたいようをかいてあげました。そのころあかいせんでこんなにいるんなものを絵にかけたのはここにすんでいる人たちだけだったんですって。装飾古墳といって、日本では一番めずらしい古墳だそうですよ。」

泉崎横穴とさおりちゃん

特集

遺跡のさとづくり

P 1~13

遺跡に 息吹と光を



わいはなくとも由緒ある「鳥峠様」として古き伝統を大切に後世に残したいものです。

昔、四、五十年前の鳥峠のことです。二月の初午、秋の八朔には、県内各地からは勿論、栃木県等他県からバスを連ね、時には臨時列車もでるほど多くの参拝者がありました。又、近郷からの参拝者は自転車や歩いてくる人が多く、一の鳥居の手前には自転車や歩台ズラリと並び、それはそれは、壮観なものでした。八朔の宵祭の賑いは大変なもので、老若男女が徹夜で盆踊りやお籠りをしました。山から流れてくるピーヒヤラドンドンという神楽の音は何んともいえず私たちの心をそったものです。山頂は人であふれ露天商もたくさん出ていて、この露天商でいろいろ迷いながら買うのが何より楽しかったです。又、各家では赤飯をふし、御馳走をつくり、酒を用意して客を待っていました。素朴で心暖まる祭りでした。今、時代が変わったとはいえ、日本の心、ふるさとの良いものがどんどん失われていくような気がします。昔日の賑わいはなくとも由緒ある「鳥峠様」として古き伝統を大切に後世に残したいものです。



鳥峠稲荷神社
今も聞える
祭りばやし
小山田 吉光
(字下宿)



(原山古墳の埴輪)

あなたの 遺跡物語

横穴古墳、原山古墳、関和久遺跡……みんな私達にはなじみのある遺跡です。でも、横穴古墳が千三百年前の装飾古墳で、壁には狩りをする人、馬、不思議なウズ巻が朱線で描かれているのを、又、関和久遺跡は古代白河郡の中心地で軍団が置かれ、正倉院(大事な倉庫)があったことを「ご存じ」でしょうか。名前も、場所も知っているけれど、それ以上詳しいことはよく分からないという人が多いのではないのでしょうか。泉崎の遺跡(史跡)は学術的にも、知名度の点でも全国に広く知られている貴重なものなのに地元の私達には案外その価値が知られていません。これら私達の共通の財産である遺跡は今眠っているのです。この遺跡に光をあて、息吹をあて、いきいきと千年の口マンを語らせることができるのは、今に生きる私達ではないのでしょうか。そして、この遺跡から先人のメッセージを聞き、それを次代の子供達に伝えることも大切な財産管理になるのではないのでしょうか。



関和久・上町遺跡
千年前の
土の色
岡部 博道
(字富内)

昭和五十四年から十二年間、関和久、上町遺跡発掘調査の補助員をしてきました。もともと考古学には興味があったのですが、発掘作業は非常に難しいものです。表土の移動は十年で1cm、一千百年の昔を知るには1m掘り下げたのですがこれは大変神経をつかうものです。根気くらべのようなものでした。当時、堅穴住居跡の柱穴跡の発見に全力をあげていましたが、これが見つかった時の嬉しさは、現在でも忘れられません。一千百年前の柱穴跡の赤土色、あの土の輝き……、感激しました。又、かまど跡が見つかった時は一千百年前正しくここで我々の祖先は生活していたのだと実感しました。現代にも勝るような見事な構築技術

の柱跡、数々の瓦、「天日茶碗」、「スリバチ」等々が次ぎつぎ発見されました。この発掘調査に参加してみて、ここ関和久、上町は確かに東北地方の中心地であったことがわかり、この地に住んでいることを誇りに思っています。



原山古墳
人物埴輪の
発見
小松 善彦
(字谷地久保)

私が小学校一、二年の頃ですから、今から二十年前になります。たまたま一人の家(字原山)の隣にある空地で遊んでいた時、崖(10mぐらい)の上の方に丸い筒のような物が見えたのです。不思議に思って、まず崖に階段をつくり、家から物干竿を持ってきて、筒の囲りをつついたのですがなかなか取れないので、近所のおんちゃん(海上清さん)を呼んで来て、今度は崖の上からスコップで掘りました。1mぐらい掘ったと思います。そこに人物埴輪が埋っていたのです。中央公民館に連絡して取りに来てもらうことになりました。その時、公民館の方は、三十cm程のビニール袋を持って来ましたが、とても入らないので、車で運びました。公民館の方達が大変驚いていたことを覚えています。



泉崎遺跡探訪

訪ねてみませんか

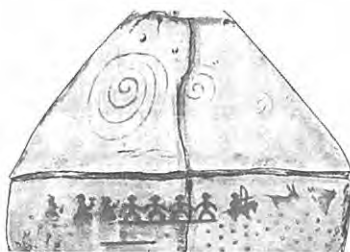
いにしえびと

古代人のくらしと想いを

泉崎横穴

昭和九年、東北地方で初めて見つかった装飾古墳です。凝灰岩を方形にくり貫いた横穴古墳で七世紀の古墳時代後期のものです。顔料（酸化鉄、朱色）を使って側壁と天井に装飾が施されています。渦巻紋、弓に矢をつがえた騎馬像、シカ、手をつなぐ四人の男子像等が描かれ、装飾古墳の中でも他に例が少ない貴重なものです。出土品として、直刀、刀子、鉄製つば、高杯（たかつき）などが見つかっています。

古代のロマンが眠っている



関和久遺跡

奈良、平安時代の礎石建造物や掘立建造物の跡七棟が確認され、その範囲は、東西約二七〇m、南北四六〇mであったことが知られています。また、須恵器、土師器、縄文土器、瓦等が出土し、米倉跡も発見されました。古代白河郡の役所跡と推測され、軍団も置かれた県南古代文化の中心地であったようです。



県南の中心地だった！





人を運び歴史を運んだロマンチック街道

旧国道（陸羽街道）沿いの松並木で、総数二百三十二本のうち約半数が泉崎に属しています。樹高は二十m、樹齢は百二十年ぐらゐと推定されます。この松並木は松平定信の時代に領内の街道に松苗二千三百本を植えたのが始まりとされ、現在の松並木は明治十五年頃補植されたものです。

踏瀬旧国道松並木

わが村最高峰の烏峠（標高四八五・七m）は村のシンボルです。山頂にある烏峠稲荷神社は、天長五年（八二八年）藤原俊仁が戦勝報賽の為社殿を造営させたのが始めとされる由緒ある神社です。「願望成就の神」として多くの信仰を集めています。現在の本殿は、権現造りの特徴のある江戸中期の建物です。特に周囲には美術的に素晴らしい彫りがあります。

わが村のシンボルです！



烏峠稲荷神社

原山古墳と人物埴輪

後円部直径一五m、長軸三十m前後の前方後円墳です。おおよそ五基の古墳があると推定される古墳群です。

昭和四十八年に、切土面からほぼ完全な人物埴輪一体が発見され、その後の本格的な発掘調査で大量の円筒埴輪、朝顔形埴輪、鳥、人物などの形象埴輪、土師器、須恵器が発見されました。特に楯を持つ兵士像、鳥、琴などは全国でもまれで、古墳の被葬者は、強大な力を持つ豪族の首長と推

観音山磨崖供養塔婆

約五十m幅に露出した溶結凝灰石に、高さ十m、幅三十八mの範囲に三三〇基の供養塔婆が七段に刻み込まれています。磨崖とは、自然の露呈した岩の面に仏像、供養塔婆、五輪塔等を彫刻することをいい、平安、鎌倉時代に盛んに行われました。この磨崖供養塔婆群は年代も明らかで、質、量とも優れており、北関東、東北全域でも例をみないものとして、中世期の東北における仏教史や石造美術史上き



わめて重要なものです。人々の祈りと願いが刻まれて……

今とどく、古代人からのメッセージ！



定されます。五世紀末〜六世紀初の营造とされています。

川畑の柵

ヒイラギの古木で六百年〜八百年の樹齢、葉に鋸歯（とげ）がなく全辺です。古木であるためいろいろな伝説が伝えられています。高さ十m、根周り三・二m、幹周二・八m。



願いが叶うというとげなし柵

とづくり

を見つめ直す環境づくり 活性化の方策を考える



町田 俊彦さん



小針 陽子さん



根本 信雄さん



穂積 国夫さん



田崎 総務課長

わが村には貴重な遺跡、文化財が豊富にあります。
これら先人からの遺産であり私達村民の共有財産で
ある遺跡、文化財を見つめ直し、地域活性化に生か
すためには、どうしたらよいか、みなさんに話し合
ってもらいました。⑤さつき荘にて

出席者

(順不同、敬称略)

- | | | | |
|---|---|-----|--------------------|
| 町 | 田 | 俊彦 | (福大・経済学部教授) |
| 円 | 谷 | 泰秋 | (前泉崎村中央公民館長) |
| 穂 | 積 | 国夫 | (村文化財保護調査員、関平郵便局長) |
| 白 | 坂 | 昇 | (泉崎第一小学校々長) |
| 根 | 本 | 信雄 | (矢吹ロータリークラブ幹事) |
| 本 | 柳 | タイ | (婦人団体連絡協議会長) |
| 小 | 針 | 陽子 | (村立病院看護婦) |
| 海 | 上 | 博之 | (村長) |
| 木 | 野 | 重三郎 | (教育長) |
| 田 | 崎 | 文能 | (総務課長) |

主催者
海上 「遺跡のさとづくり」
座談会にご出席いただき、大変ありがとうございます。
泉崎には大変貴重な遺跡が数多くあります。本日は、この遺跡を見直し、地域活性化に結びつける方策はなにかみなで考え、話し合っていただきたいと思
います。
司会 過日、ある新聞の投書欄に泉崎村は大変遺跡に恵まれているのに遺跡を軽視しているのではないかと
いう投書が載っていました。さて、これだけの遺跡を持つ村として今、我々ほど
ういう意識を持たなくてはならないのか、町田先生ま
ず一言どうぞ。
町田 村おこしという点での遺跡という文化的なものの場合、他の観光施設と違ってそれだけで行った者がすごくいいなという感じにはなりません。そういう遺跡、歴史をどのくらい住民が支えるような文化活動があるか、それをどのくらい住民が語れるかということが大事です。遺跡を支える住民の体制というものが外から行った者には非常に印象に残るものです。そうい

座談会

遺跡への 共有財産である「遺跡」 遺跡を生かした地域



海上博之村長



円谷泰秋さん



木野内教育長



白坂 昇さん



本柳タイさん

穂積 私は文化財保護委員の立場からまず「歴史資料館」を是非つくるべきだと提案します。今、開発の途上であって散逸し、消滅しようとしている歴史資料や文化記録を収集、保存、整理して、後世に残すと同時に、誰れでもがそれを見たり研究したりできるようにすることが、村の歴史に関心を持ち、遺跡への関心も高めると思います。尚、「歴史資料館」についてはすでに役場に提案してあります。

歴史資料館

司会 まず遺跡への関心を高めるということがポイントになるということですが、穂積さん、いかがでしょう。

遺跡への関心を 高めるためには

う意味で住民が遺跡に関心を持つことが一番基礎にな

るのではないのでしょうか。



司会 円谷先生どうぞ。

まず知らせる

ことでは……

円谷 まず知らせること。知らせるのには掲示板がある。詳しい説明板が欲しいですネ。次に見せる。説明板があるから大丈夫ではだめです。見る機会をつくつてやることです。村の文化財めぐりなどを定期的に行なうことです。私、泉崎横穴の説明会を二、三回やりましたが、いつも二、三十人は集まりました。そういう機会をつくり説明するその時代とこの地域との関係がだんだんわかってくるのです。村民に広く知らせる

機会づくりは必要だと思えます。遺跡というのは、そのままでは利用価値がないわけで、関心のある人だけが目に來ます。しかし、わが村がかつては県南地方の文化・行政の中心であったというようなことが遺跡を詳しく調べると知ることができます。そう言うことを知らせることによって住民の意識が高まり、遺跡のさとづくりが始まるのではないのでしょうか。

司会 まず説明板、そして見る機会をつくっていくということですね。そのほかにも根本さんどうでしょう。

遺跡写真展や

写生を……

根本 やはり一般的には歴史、遺跡に興味を示すことは余りないのではないかと……本当に好きな人、歴史を勉強している人ならばともかく我々にはそこにそういうものがあるとは知って

いても、説明板が立っていても、足を止めて関心を示すところまではなかなかいきません。ただ我々に今すぐできるものがないものかと考えた時に、遺跡の写真展などがあると思います。

関和久遺跡、踏瀬の松並木、横穴などを村民が思い思いに自由に撮ったならば、今まで誰れも知らなかったすばらしい面が発見されるかもしれません。そしてそれらの作品のコンテストを実施してはどうでしょう。又、子供達の写生会などもいいと思います。こういうことなら今すぐ簡単にできる関心を高める一方法だと思います。

司会 なるほど、さて子供達の写生会という一つの提案が出されました。白坂校長先生、教育的立場でいかがでしょうか。

意図的な

教育も必要

白坂 子供のことを考えて言いますと、やはり現場に行くような機会を多くするとか、遺跡についてのパンフレットを持たせるとかで非常に関心の持ち方が違ってきます。実際その場所に行つて風の音をきき、土のにおいをかぐ、そして見るという体験が非常に大切なのです。写生会もいいと思います。我々教育する方も意図的にやってみていかないとあるから感じるというわけにはいかないと思います。感じさせるように仕組みなければなりません。

村は刻々変わっていき、人もどんどん入ってきていますが、その人達への案内も

泉崎村の文化財

名	称	種	類
1.	泉崎横穴	史	跡
2.	関和久官衙遺跡	史	跡
3.	観音山磨崖供養塔婆群	史	跡
4.	太田川梅若唄念仏踊	民族	文化財
5.	踏瀬旧国道松並木	天然	記念物
6.	大網本廟跡	史	跡
7.	原山古墳人物遺物	有形	文化財
8.	小林山古墳出土品	考	古
9.	縄文土器壺及び軒丸瓦	考	古
10.	鳥峠稻荷神社本殿	建	築
11.	川畑の柂	天然	記念物
12.	昌建寺梵鏡	有形	文化財

兼ねたパンフレット、誰れでも持つていられるようなものが必要なのではないでしょうか。

司会 本柳さんの家からは鳥峠が正面に見え、横穴もすぐ近くにありますが……

まず行って、

見る機会づくり

本柳 そこに行つて見ると

まず知らせる、見せる機会づくりを

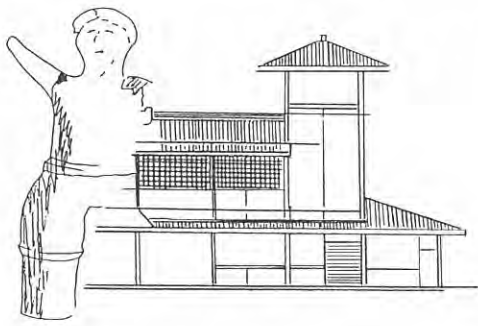
円谷さん

歴史資料館の建設を

穂積さん

いうことは大事だと思えます。以前、青少年健全育成会で文化財めぐりをしました。子供達と一緒に過ごした一日でしたがすばらしい収穫があったと思います。郷土愛というか、泉崎はこんなところなんだという感じが実感できたように思います。子供達にそういう思いを体験させることは健全育成の面からも非常に大切なことだと思います。できれば、家族で、お父さんお母さんと一緒に体験させたいことです。

司会 小針さん、どうぞ。



泉崎歴史資料館

泉崎資料館の建設は、ふるさと創生事業で村民の皆さんから募ったアイデアを基に計画している事業です。

現在泉崎村内には、横穴古墳をはじめ関和久遺跡、原山古墳など多くの遺跡が発掘されていますが、そこから発掘された貴重な出土品の数々は村外の資料館に保存されているのが現状です。

これら村外にある村出土品を出来る限り収集し展示するとともに、近代に至る村の永い歴史を物語る古文書、絵画、民芸・工芸品、武具、農工具等を永く継承し、郷土文化の証しと村民文化高揚のため、集合、展示するものです。

資料館には多目的に利用できる研修、集会室を設け、村民の方々や各種団体の集会の場、展示資料の研究の場として利用できるよう計画しています。この資料館を村の文化拠点とする計画です。

建設位置は、J R 泉崎駅の隣（矢吹側）に予定していて、現在推進している駅東側の開発と一体的に、村の中心部としての駅周辺の活性化を図る計画です。

建設時期は、平成3年と4年の二ヶ年を予定しています

は行政はできません。今、差し当たって歴史資料館の建設を駅前コミュニティセンターと併せて進めています。散在している歴史的資料、土器、石器、瓦等、整理し系統だてて陳列したいと考えています。又、わが村で出土したのに県に持っているかたてしまった埴輪などはレプリカをつくって展示したいと考えています。又、文化庁の「遺跡のさつくり」モデル町村の指定を受け指導を受けたいとも

子供達の体験教育の場として——本柳さん

小針 理解する、わかるために、そのものを自分の目で確かめ、実際体験することだと思えますし又、確かに説明板を読めばわからないこともないのですが、遺跡同士つながり、長い歴史上のつながりが今いちピンとこないのです。この遺跡が今の私達にどうつながっているのか、そこが知

りたいのです。それにはビデオか何かで、一つの流れとして物語的に製作してはどうでしょうか。映像は、私達のような世代には一番ピンときてわかりやすいのですが……。

司会 遺跡への関心を高めるために村教育委員会としてはどうでしょうか。

木野内 原山古墳から出土した埴輪は今県立博物館のメインになっています。横穴古墳については周辺土地を確保し整備をしようとして

たところ文化庁の方からいまのままでいいでしょうということ、県、あるいは国の文化庁の考え方と文化財を持つ我々との考え方にギャップがあつて思うように整備できない悩みがあります。しかし、保存にしても復元にしても、あるいは資料館にしても村だから村らしいものをというのでは人を引きつけられないと思います。やはりそれなりの権威のあるものをつくらなければならぬと思います。

ビデオで遺跡物語を…

司会 町田先生、まとめを。

町田 非常に歴史に関心のある人達と、そうでない人達に分けて考えてみますと歴史に深い関心のある人には学問的な文章で伝えることができません。そうでない広く一般的な人達にいかに関心を持たせるかというこ

司会 町田先生、まとめを。

町田 非常に歴史に関心のある人達と、そうでない人達に分けて考えてみますと歴史に深い関心のある人には学問的な文章で伝えることができません。そうでない広く一般的な人達にいかに関心を持たせるかというこ

歴史資料館を核とした遺跡





熱心な話し合いが続く……

考えています。横穴古墳については模型をつくり誰れでも、いつでも見られるように、関和久遺跡、原山古墳等は歴史資料館の中に模型で復元してみたいとも考えています。ビデオも当館に備えておき、村の遺跡、歴史がこの資料館で総合的にわかるようにしたいのです。

さらに現場を見たい人のために自転車をも、六十台用意して、「史跡めぐりパンフレット」を手にサイクリングをしながら村内の遺跡にふれてもらうという、いわゆる資料館を核とした遺跡を考えています。

穂積 村内にはまだ発表さ

れていない貴重な古文書、出土品等が個人の家にたくさんあります。それらはこのままの状態でも保存しておくといずれは消滅してしまう恐れがあります。ぜひ資料館建設と同時に埋れた歴史資料の調査もお願いしたいところです。

町田 確かに資料館というのは関心をおこすことに結びつきますし、保存という意

村おこしの素材としての遺跡



味でも大切ですね。資料を持っていく人が安心して預けられるような信頼性のあつたものにつくることが大切です。

海上 もう一つ、烏峠の稲荷神社本殿の修復保存も何とかしなくてはと考えますが、本格的にすると億の金がかかります。もう少し時期をみてと考えています。

司会 さて、村おこしの素材としての遺跡……「今の白河は昔の泉崎だった」ということですが。

いかにして

特徴を出すか

町田 観光、誘客の素材として、もう一つ、村の人達へ歴史を伝える素材として

と分けて考えられます。観光、誘客の素材として考える時、これはいかに個性、特徴を出すかということですね。すでに遺跡、歴史を使った町おこしは全国各地で行なわれていますので、

空間、スポーツ、遺跡を連動させては…

よほどの特徴を出さないと難しいと……。

海上 確かに難しいですね。

外向けに売り出すのはきつい

と考えた場合、小針さんのような若い女性にもすんなり来てもらえるし、来た人にああ、いい村だなあと思ってもらえるのではないのでしょうか。

出すのはきつい

町田 観光、誘客の素材としてのこの村の遺跡は、パ



緑の百景歩こう会・5/26

遺跡・スポーツ・空間景観と全村を観光資源に——根本さん
遺跡を支える文化活動、体制づくりを——町田さん

私の提案



「古代茶屋」

小針辰男 (字烏川)

私は、横穴古墳や関和久遺跡等の文化財産のある泉崎が好きです。私達はこれらの貴重な文化財産を目減りさせないで増やして後世に残す義務があるのではないのでしょうか。しかし、現実には、横穴古墳など風化が著しく、このままでは保全が危ぶまれます。一刻も早く専門的な方法で保存しなくてはならないと思います。又、私は関和久遺跡の復元を提案します。関和久遺跡はわが村が古代東北の要所であったことを証明しています。復元は広大な土地の買上げなど大変難しいと思いますので、関和久遺跡の一部に縮小模型をつくり、その囲りに古代米を作付けし、訪れた人に古代米、古代味噌等の食事を供するのです。古代茶屋と称し、その当時の風俗をそこに再現するのはどうでしょうか。遺跡を生かした村おこしだと思います。

遺跡も自然も意図的教育が必要

白坂さん

と見てすぐわかる、すごいなあというものではないだけに外向けに売り出すというのはきついのではないのでしょうか。むしろ、県内外の広域的な子供達の学習の場というか、じっくり見て歴史を勉強するために来る人達、又は専門的な人達が来るといふことのほうが、一般観光客を誘致するよりいいのではないかと……。海上 観光的素材としては

司会 さて、ここで村おこし、村づくりということで、もう一度みなさんに聞いて

みましよう。

遺跡を

生かした村づくり



インパクトが弱いですネ。村にはスポーツ施設があつて、競技人口は年間約十万人です。観光という意味でなく、その人達にスポーツ

をした後、村の遺跡にふれたり、歴史をちよつと勉強してもらつたりということでもいいわけです。

生活密着型

村づくり

根本 この村のハイアメリテイということで、本当にふれあいがあり、活力があり、にぎわいもありゆとりもあるという村づくりが、これからの望まれる村づくりだと思えます。例えば地名ですが、陳場山、外の入、館、大小踏切などには大変な由来があり歴史がかくされていると思えます。これらの由来を我々が知ったとき一段と村への愛着心が深まるのではないかと。又、村には泉川という川があります。この川を利用したりバーサイドサイクリングロードなども我々村民の生活に密着した村づくりになるのではないかと思いますネ。

穂積 遺跡についてはやはり、行政の指導で整然と計画的に整備してもらいたいものです。又、案内板、説明板などはその遺跡にふさわしく、その時代にマッチ

した例えば埴輪のモチーフなどでつくるようにしてはどうでしょうか。

遺跡&スポーツ

・学習

小針 教育と観光をうまくマッチさせて、この村に泊まって遺跡を見、スポーツをし、歴史を学習するといふことができれば遺跡を生きたものにする事ができると思っています。



6/18. 58名のみなさんが参加

ぜひパンフ

レットを

円谷 村づくりは人です。まずその人にわからせる、関心を持たせることが先決問題です。遺跡だけでなくこの村の姿を正しく知ることです。そのためにも、村の遺跡案内パンフレットをつくらなければなりません。**本柳** 根本さんが言った地名おこしは大変興味があります。その昔、この村にはどんなことがあり、人々はどんな生活をしていたのかと……私達の知らない歴史



遺構配置図に基づいて、古代白河郡衙の建造物を推定して復元したものです。

がまだまだたくさんあるのですネ。そして、もう一つは、歴史を語れる指導者です。こういう指導者を大事にして又、活用していかなくてはならないと思います。

遺跡も大切

・自然も大切

白坂 遺跡はもちろん中心となりますが、遺跡だけでなく自然を大切にしたい。村づくりも大事だと思います。子供達に教育する場合も、遺跡と同時に自然とのふれあいを大切にする教育が必要です。子供達がどこに行ってもおれらの村にはこういうものがあるんだという知識としてわかる教育をしたいものです。又、国際交流の面でも外国の人にきちんと村の文化を伝えられるよ

うにしたいものです。

遺跡と人が共存

する環境づくり

木野内 遺跡と人が共存する環境づくりが大切です。遺跡のために今生きている人が不自由なことがあります。遺跡として残すところと開発しなければならぬところとの調和をうまくとっていかねばならないと思います。遺跡を生かした村づくりは、遺跡もいいけど、人もいいという環境づくりだと思えます。**町田** 遺跡を素材にした村おこし、村づくりということとでまとめますと……、泉崎の場合、狭い意味での観光産業として遺跡を生かした村づくりで食べていく



祈り… (とげなし柁とおばあちゃん)

ということとは考えなくてよいということなんです。観光的なもので同時に飯を食べていくしかないところは、非常に多いんですが、この村は他産業が大変盛んで雇用の場も多く、経済的に恵まれる人口も増えつづけています。遺跡に頼らなくても産業面での村おこしがすでになされているわけです。ですから産業、経済と切り離した村おこし、教育とか、

村の誇りとして

PRしては…

平沢 幹
(字八雲神社)

字「八雲神社」(ニュータウン)に昨年の秋に移住しました。澄みわたる大気、美味しい空気と静寂な大自然の恵みを満喫でき、脱都会生活に満足。

ところで「八雲神社」の地名のいわれを是非知りたいものと村のみなさんにいろいろ尋ねてみましたが、とうとう判らざりませんでした。たまたま、ゆずりは学級で村の史跡めぐりが行なわれるというので参加しました。村の史跡を円谷先生の解説でタツプリ見ることができました。泉崎村には何んと文化遺産が多いことか。考古学時代の古いものからは、出雲・奈良などともにも古代日本の息吹を感じさせられます。これらの史跡はできる限り現状保存に務められていくのでしようが、村の誇りとして積極的にアピールし活用するのも、私達の務めではないでしょうか。

史跡めぐりに参加して



遺跡と人が共存する環境づくりを

木野内教育長

教育・スポーツ・観光を一体化させて

小針さん



関和久官衛遺跡

国際交流とかでの村おこしを考えていけばいいのではないでしようか。泉崎は非常に恵まれた村といえるでしょう。又、県下一の人口伸び率のこの村で、新しく

入ってきた人との交流をはかるうえで遺跡、歴史は大きな役割りを果たすものと思えます。司会 村長、最後に一言。

一人ひとりが できる村おこし



海上 一般的な観光産業に遺跡をつかって村おこしをするのは確かに難かしいでしょう。しかし、既存する

スポーツ施設、これから建設する自転車競技場などに集まる人達に歴史資料館を核としてわが村の遺跡・文

歴史資料館を核として遺跡環境整備を——海上村長

私も一言



遺跡は みんなの宝物

齋藤香名子 (泉崎中三年)

私が初めて、村の文化史跡を見たのは、中一の時でした。学校の授業の中で、村の文化史跡めぐりをしたからです。友達と何人かでグループを組み、自分達の選んだコースを見学しました。初めのうちは、遺跡に興味のなかった私達でしたから、案内の紙を見ながら難しそうだし、めんどうくさいなあ、などと話していました。

ところが、出発して、色々な遺跡を見学しているうちに、そんな気持ちはどこかへとんでいってしまいました。案内の紙だけで見た時はつまらなかった、たくさんの遺跡を、目の前にして見ると、なぜだかとても感動し、それと同時に、ああ、これが何百年も昔からずっとここにあって、私達の村の歴史を見つめ続けてきてくれたのかと、何か親しみを感じたりしました。

そんな、すばらしい遺跡が、泉崎村にはたくさんあり、それらは村の人達みんなの宝物だと思います。もう一度そのことを思いながら、私達の村の遺跡を見つめ直そうと思っています。



化財にふれてもらい、見てもらい、更に歴史を勉強してもらおうことは大変重要な村おこしであると思います。

又、村民のみなさんの一人ひとりが、遺跡への関心を高め、歴史を知り、わが村の先人がどのようにして生活してきたのか、我々に何を残し、何を伝えようとしているのかを知ることが今日生きる我々の明日への糧にもなるのではないかと、又、豊かな心、ゆとりの心を我々に与えてくれるので

はないかと思えます。遺跡をもう一度みんなで見つめなおすことは、村民一人ひとりの立派な村おこしであると確信します。本日は、みなさんより大変貴重な意見をたくさん出していただきありがとうございました。今後の村づくりのうえで、大いに役立つものと思えます。ありがとうございました。司会 以上で閉会とします。

史跡めぐりに参加して



六月十八日、梅雨の晴れ間の暑い日、史跡めぐりに参加しました。いつも唯眺めていたあの山が「人なつかしの山」見わたす限り青々と広がる稲田が古代東北の要所「関和久遺跡」「横穴古墳」はナント装飾古墳としては東北では唯一のもので、同じものは九州にしかないとは……、江戸時代が目につく「松並木」、古代人の願いを彫った供養塔群、「観音山磨崖供養塔婆群」埴輪の「原山古墳」川畑の「ヒイラギ」バスで巡った三時間はあつという間でした。知りませんでした。私達の村にこんなにたくさんの貴重な遺跡があるなんて……帰りのバスの中で「泉崎って、スゴイ村だったのネ。」昔は東北一だったのネ。」の声がしきり。この史跡めぐりに参加して本当の泉崎村の姿をかい間見たような気がしました。

昔は東北一 だった!!

遠藤子エ子
(字八斗蒔)

話題の

さんぽみち

おめでとうございます

ありがとうございます



善意の募金92万8千8百50円

雲仙岳被災地へ

この度、泉崎村赤十字奉仕団（委員長・本柳タイ）では、「雲仙岳火砕流災害助かけ合い募金」の募金活動を実施しましたところ、総額九十二万八千八百五十円の善意の募金がありました。

意、本当にありがとうございます。本柳委員長より「今回の募金は期間が%、%までと短かかったため奉仕団員が全家庭を訪問できなかったことがありました。誠に申し訳けございませんでした。みなさんのご厚情に心から感謝申し上げます。」とのメッセージがありました。



左より大塚さん、本柳さん、村長

泉崎二小

母校へ寄附

緑川さん・退職を記念し

去る六月十九日(水)、緑川米一さん(与野市・字上町出身)より、泉崎第二小学校へ教育資金として十万円の寄附がありました。

緑川さんはふるさと泉崎を離れて約四十年、東京都職員として、築地市場に勤務してきましたが、この度退職されました。これを記念して、出身校である泉崎二小へ寄附されたものです。泉崎二小では、図書購入

費に当てることを検討し、ご寄附に感謝しています。



緑川さんご夫妻と村長：右

防犯活動に感謝状

交通防犯モニター協会

去る六月一日、白河警察署長、白河防犯協会連合会長より泉崎村交通防犯モニター協会(会長吉田正衛)に感謝状が、同協会会員穂積

国夫さんと同連絡協議会長穂積博信さんの両人に防犯功労賞がそれぞれ贈られました。

わが村の交通防犯活動は

在職功労者賞 受賞

佐川さんら四議員

佐川 力議員は十五年在職功労者として去る二月六日、全国町村議会議長から、又、六月十三日には、田崎安正、渡辺繁美、橋本三男の三名の議員が十一年以上在職功労者として、福島県町村議会議長から表彰されました。

これまでの自治功労が認められたものとお祝い申し上げます。



渡辺繁美さん



佐川 力さん



橋本三男さん



田崎安正さん



人権擁護委員十年 本柳さんに感謝状

去る六月十四日、郡山市で開催された人権擁護委員県大会の席上、わが村の人権擁護委員の本柳百合子さんに仙台法務局長より感謝状が贈られました。

本柳さんは、昭和五十七年から現在まで十年間にわたり地域のみなさんの悩み・困りごとの相談を数多く受けてきました。「女性が

当協会会員を中心に地域ぐるみで行なわれています。昨年は、自動車、自転車の鍵かけ、無灯火調査、青少年の非行化防止の為にたまり場の巡視、各地区夜間巡視等を精力的に行なっています。会長の吉田さんは、「みんなが安心して暮せる村が一番です。これからも頑張ります。又、これからお盆をはさみ交通事故、軽犯罪が多発する時期ですネ。ビシビシ注意し、指導していきます。」と力強く語ってくれました。

多いですね。女性は女性の立場でないと判らないことが多いものです。それと、じっくり聞いてあげること。私を信頼して相談してくれる一人、ひとりを大切に思っています。」と本柳さんは話してくれました。悩み、困りごとをお持ちの方、一度お電話してみてもいいかでしょうか。



本柳さん(左)と村長

本柳百合子さん
電話 53-2023
同じく人権擁護委員
田崎 富雄さん
電話 53-2484



左より 吉田会長、助役、村長

みんなで 村づくり

ガンバッています。

洋ラン



好評

順調なスタート

平成二年二月二十六日に第三セクターにより設立した（株）泉崎バイオセンターも一年を経過しました。この間、ユリ、デンプアレ等洋ラン、ミニトマトを栽培、出荷してきました。これらのバイオによる栽培は新しい農業形態として関係機関はもとより、地元農業の経営者からも高い関心がよせられ視察者が相次いでいます。

まずユリ苗から始める

当社の植物栽培は昨年九月に関和久愛宕町の佐川健雄氏方の畑に試験的にユリの苗を定植したのが、第一歩でした。

その後ユリは、泉崎村花卉園芸振興協議会へバトンタッチされ、今年には十万本のユリ苗が栽培されます。

次には洋ランを

続いて八月十一日には、洋ランの苗が二万本導入され、洋ラン栽培の幕あけとなりました。現在では、八ヶ代にハウス三棟と前述の佐川氏方にハウス二棟をもち、約四万本の苗がすくすく育っています。

ミニトマト誕生

また、洋ランと同時に同地区（八ヶ代）にミニトマト専用ハウス二棟が建設されました。このハウスには、東北バイオニア社との提携により、同社が開発した水

耕栽培システム「ミラクルファーム」が導入されました。本年三月に収穫されたミニトマトは、「メロディーミニ」と名づけられました。

味の点では大変好評で収穫後半からは注文に追いつかず予約販売に切り替えたとどでした。第二作は本年九月より収穫が予定されています。

更にバイオ棟建設

バイオ棟が去る六月に完成しました。バイオ部門は当社の将来を担う最も重要な部門です。これからは、このバイオ棟より新品种の育成、組織培養による大量増殖、無菌播子等が具体化されます。

視察者相次ぐ

視察者は五〇件延べ人数四六〇人に達しました。遠くは新潟県、静岡県から、近くでは棚倉、郡山、日立方面からの視察もあり、村内はもとより近在の方からも大きな期待と関心がよせられています。

イベントへの参加

イベントへの参加は、「み

咲き競うデンファレ



視察者を案内する小沢部長

どりの百景歩こう会」での販売。新幹線東京駅乗入れ記念にとまなう新白河駅構内での展示・即売がありました。今後の予定としては福島万博、東京ドーム世界ラン展への出品等を計画しています。

今年も飛躍のとき……

今年度には、八ヶ代池下に洋ラン専用ハウス七棟、約七〇〇坪の建設が予定されており、来年度に向けて更に大きく飛躍すべく準備と努力が続けられています。

生かそう 資源ごみ

— 第1回集団回収 —

泉崎村社会福祉協議会では「紙はまた紙へ……」「生かそう、資源ごみ」を合言葉に新聞、雑誌の集団回収を始めました。第1回回収日の6月24日(月)は、あいにくの雨でしたが、早朝7時頃からどんどん集まり、指定場所に待機していたボランティアのみなさん汗びっしょりで処理していました。この日集まった新聞、雑誌は4トントラックで二台になり、回収業者に引きとられました。この収益金は社会福祉協議会の事業費として活用されます。当会では、みなさんのご協力に感謝し今後も継続して実施していきたいとしています。



4トントラック2台分ありました



鍛える!

カラ手教室

フォート



農業はやり方次第……とニッコリ



村立病院

石田 豊医師着任

健康づくりの全力投球

去る七月三日、村立病院に内科医として、石田 豊医師が勤務することになりました。

石田医師は広島大学医学部を昭和四十六年に卒業、その後、内科医として、又病理学研究、臨床医等幅広く数々の研究、経験を積んでこられた医師です。石田医師「泉崎村で頑張ります。」と意欲的です。村立病院も石田医師を迎え、院長を中心にスタッフ一同、一人ひとりがみな健康”のお手伝いに全力投球のかまえを見せています。

現在の医師団は、

院長 成沢 俊雄

内科 石田 豊

外科 石井 俊一

※外に毎週土曜日に福島県立医大の心臓・血管外科教室より医師が来院し心臓・血管クリニックを実施。

看護婦 二十一名

各種技師 四名

栄養士 一名

ありがとう!



おじいちゃんに花をプレゼント

薬剤師 三名
事務職々員 七名
以上村立病院スタッフです。

甘熟トマト

今、さかり

大野正春さん (字長峯)

今、甘熟トマト出荷の真

つ盛り。大野さんはトマト25 a、

a、ブロッコリ30 a、ニラ

20 a、稲作2.5 haの多角経営

農家。大野さん夫婦とおじ

いちゃん、おばあちゃん

の四人が働手です。「農業は

やり方次第では夢も希望

もある仕事です。できるだ

けの省力化、労働時間の短

縮、販売組織を強化して安

定収入を図る、これらをク

リアーすれば後継者問題も

解決するはずですが。」と話してくれました。

語りあいました

ふるさとのこと、友だちのこと……

一年ぶりで会った人、十年ぶりに会った人、みんな懐かしい人ばかり。話す言葉もいつしか泉崎弁になっています。ふるさとを同じくする人って本当にいいですね。

ふるさとバンザイ



去る六月二十三

日(田)、東京都・グランドヒル市ヶ谷で、第七回泉崎村友の会総会が開催され、八十一名村からは、海上村長、菊地議長、箭内副議長が出席しました。

会は、橋本情会長、村長のあいさつ、祝辞の後、議事に入り、平成二年度事業経過報告・決算報告・平成三年度事業計画・予算が原案どおり可決、その後、役員改選が行なわれました。引き続き



懇親会が同ホテルで行なわれ盛会でした。

●新役員

会長 橋本 情
副会長 須藤 兼正
田崎 光男
加瀬 光枝
(敬称略)

泉崎村友の会は、昭和五十九年に東京方面に在住している泉崎村出身者がお互いの交流、親睦を図ることを目的として結成されました。以来七年の間には、同級生どうしの集まり、カラオケ愛好者の集まり、ちよっと一杯組など、いろいろ

話し、はずんで



な形での交流が深まってきたようです。又、村との交流も、ふるさと宅配便、広報紙の送付など活発に進められてきました。発足当百十二人だった会員も今年度の新会員を合せ二百二十八人となり、今後、当会の活動がますます盛んになるものと思います。



夏こそ

スイミング!!

村民プール「泉崎さつき公園プール」(既報)が、七月二十九日(月)オープンしました。

水泳は全身でするスポーツです。そして何より気持ちいいですね。一石何鳥ものスポーツです。友だちと一緒に、親子で、家族で、みんなで泳いでこの夏、おもしろい元気に過しましょう。

① ルールは守りましょう。(過日各ご家庭に配布しました。)

② プール利用時間

一回目 9:30 ~ 11:30
二回目 12:30 ~ 14:30
三回目 15:00 ~ 17:00
四回目 17:30 ~ 19:30

③ プール使用料金

高校生以上一回(2時間以内) 二百円
小・中学生 一回(2時間以内) 五十円
幼児 無料

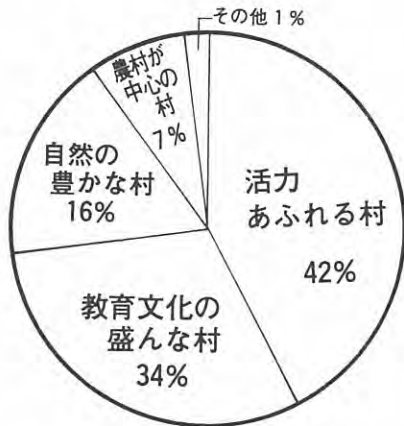
④ プール開場期間
九月三十日まで。



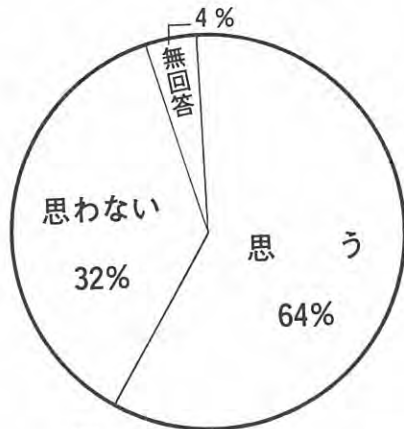
ミニアンケート実施しました。

広報「いずみざき」では第7回泉崎村友の会総会終了直後、出席会員のみなさんにアンケートを実施しました。総会と懇親会との間の慌ただしい中をご回答いただきましたみなさんにお礼申し上げます。

対象者 総会出席会員81名
回答者 48名(回答率60%)
方法 無記名



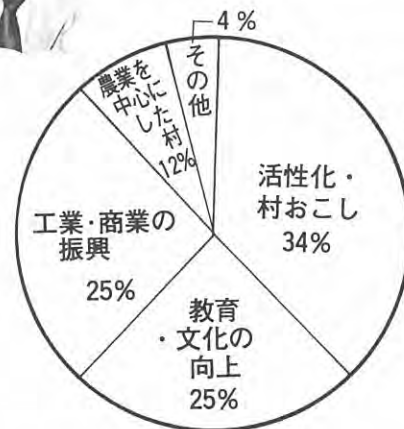
Q あなたがイメージしている泉崎を一言で言うと……



Q あなたは(又はご家族の方)将来泉崎に帰って暮らしたいと思いませんか

(%)	23%	15%	15%	47%
年	10年	5年	2~3年	その他

Q それは何年先ぐらいですか



Q これからの村づくりは何が一番重要だと思いますか

(%)	34%	30%	20%	9%	7%
回	2回	1回	3回	5回	その他

Q あなたはふるさと泉崎に一年間にどのくらいの割合で帰省しますか

(%)	23%	21%	10%	46%
日	2日	3日	1日	その他

Q 一回の帰省で何日くらい滞在しますか

- ☆ 若者が定着する村づくりを
- ☆ 買い物に不便、商店をつくり商業の振興を
- ☆ 活性化の継続を望む
- ☆ 心の豊かさを実感できる村づくりを
- ☆ 自然とのバランスを考慮した開発を

Q 村に何か一言を……

泉崎村議会議員一般選挙

投票日：九月二十日

平成三年九月三〇日をもって任期満了となる泉崎村議会議員の一般選挙について、平成三年七月十五日選挙管理委員会を開催し、選挙期日等を次のとおり決定したのでお知らせいたします。

①選挙名

泉崎村議会議員一般選挙

②選挙期日

平成三年九月二十日(金)

③告示日

平成三年九月十五日(日)

④選挙すべき議員の数

一六人

⑤有権者数(平成三年)

3月29日現在)

男 2,282人
女 2,437人
計 4,719人

フォト

好きです いずみざき



今日からママは芸術家

油絵教室で



ママの願いは唯一つ
元気に育つて

保育所・七夕まつり 7/6



いずみざきのやわらちゃん

空手教室

空手教室

娘が来た!!

「おばあちゃん、カ
ユイところない?」
「右の下のところもう
少しネ。」
一週間に一度のヘル
パーさん訪問を首を長
くして待っているおば
あちゃん。ヘルパーさ
んの顔を見てニッコリ
!「娘が来た。……」



小林ノブさんの髪シャンプーです：ヘルパーさん

燃える!!親子太鼓



和太鼓伝承会



東北新幹線東京駅乗り入れを記念して、ランのコサージュをプレゼント：新白河駅にて 6/20



エアロビクス
に
チャレンジ

青年教室（委員長 本柳 征一）では、学級生九人がエアロビクスにチャレンジ。遠藤元子先生に合わせて、ワン〜、ツ〜スリ〜……、ヒロシ君は「イヤー、ビールがウマカッタナ：」？。普段使わない筋肉を動かしたり、伸びたり、縮んだり、結構ハードだったようです。

パソコン
好評



泉崎第一小学校



泉崎幼稚園

今月のほほえみさん



添田 早苗さん

生年月日 昭和43年10月14日
 血液型 O 型
 身長 152cm
 体重 ??
 得意なスポーツ テニス
 趣味 旅行
 好きな食べ物 おすし、グレープフルーツ
 得意料理 ハンバーグ
 好きなことば 一生懸命
 好きなタイプ(男性) 抱容力と好奇心旺盛な人

さようなら
 ペッパーさん
 たくさんの思い出を

ありがとうございます

去る平成元年八月から二年間、わが村の英語指導助手として活躍されたペッパーさんは、多くのみなさんに親しまれ愛されてきました。この度、母国オーストラリアへ帰国されました。



笑顔がかわいいペッパーさん

踊る授業は大好評でした!



幼稚園にて

阿部さん宅でホームステイ体験



阿部さん宅で

♡ ペッパーさんごあいさつ

泉崎のみなさん、二年の間どうもありがとうございました。私の気持ちの中ですてきな思い出がたくさん、たくさん残りしました。
 幼稚園・小学校・中学校・公民館の英会話、いろいろなセレモニーとパーティに出席しました。ホームステイをして日本の生活を体験することもできました。日本には良いことがいっぱいありますので、帰国して日本の生活をまねしたいと思っています。
 みなさん、私のふるさとパースにも来てくださいます。また、お会いしましょう。ピッパ・エッチ

どうぞよろしく!



ローラ先生
 着任します
 (八月五日)

わが村の外国青年招致事業が昭和六十二年に開始されてから、八月には四人目の外国の先生を迎えることになりました。

ペッパー先生と交代するローラ先生はアメリカのペンシルベニアの出身です。八月五日(月)に来村し、一年間滞

- ・出身校 ペンシルベニア ジェームズマデyson大学
- ・出身 アメリカ合衆国
- ・なまえ オークス・ローラ
- ・住居 泉崎村大字泉崎字 高屋原十九

テモラ町訪問団 (八月六日~八月十三日)

中学生二十三名、引率の先生四名の訪問団が、佐藤雄喜中学校長を団長として、今年も、わが村の姉妹都市テモラ町(オーストラリア)を訪問します。

一行は、八月六日から十三日までの日程で、テモラ町、キャンベラ市、シドニー市を訪問し、テモラ町では二日間のホームステイを体験することになっています。第三回目を迎えたこの訪

問は、ホームステイを体験し、異文化に直接ふれて、相互の国際理解を深める良い機会として毎年実施されています。





奉仕活動について

泉崎中学校二年 山内 真紀子

私が住んでいる村のある一部分の地域では、一カ月に一回、または二カ月に一回ぐらの割合で草むしりをやっています。もうずいぶん前のことですが、私もこのみんなで決めた奉仕活動に参加しました。

参加した人達は、汗を流しながら一生懸命草をむしりました。むしり始めてから約二時間過ぎてても、みんな、自分が住んでいる地域をきれいにしようと思死でした。私も負けずに草をむしりました。手はもう真っ黒です。

初め、草むしりをやると母から聞いた時、そんなのやらなくていいのにと思っていました。でも、よく考えてみると、私達以外にやる人はいないので。自分達が住んでいる所でもあるし、一体だれが、あまりに伸びすぎた草をむしってくれるのでしょうか。汚れた手とにぎっている草を見ていたら、自分から進んで何でもできる奉仕の心がわかったような気がしました。

草むしりも終りに近づき、みんなで一休みしている、参加している人達が、前回の草むしりをしてきた人達の顔ぶれと同じことに気づきました。どうして参加しない人がいるのだろうか疑問に思いました。みんなで決めた事なのだから全員が参加しなければならないはず。どうしても参加できないという理由があるのなら仕方がない

いけれど、何回も草むしりができないわけありません。きっと草むしりに参加しなかつた人達は、初めの頃の私の考えのように、めんどくさいと思っっているのではないのでしょうか。

「草むしり」という奉仕活動について考えているうちに、それぞれ自分の家へ帰る時間になりました。

それから何カ月か過ぎて、母がこんなことを父に話しているのを聞きました。

「やっぱり何でもそうだけど、ある程度決まった人達だけが行事を行うのではなくて、全員でやらなくてはいけないのよ...」

私は、思わずうなずいてしまいました。

何でも全員で協力して行わなくてはならないということ、改めて知ったような気がしました。母の言ったとおり、ある一部分の人達がやっただけではいけないと思うのです。全員が、自分達の地域をきれいに住みやすくしようと思わなければ奉仕活動の意味がないのではないのでしょうか。「奉仕」といっても、私達の住んでいる地域のことを考えてみれば、もっとスムーズにこの活動に参加できるはずなんです。

私は、それぞれの地域の人達全員が草むしりに参加できるようにする、いいなあと思います。



(泉崎中一年) 木野内 徹君

版画「友達の顔」



いちごの会

去る六月十七日(月)、いちごの会では「人生八十年時代における生きがい」(講師・東邦生命保険生活情報室・斎藤義正氏)の講演会を行いました。参加した同会々員とその奥さんたちは「さっそくこれからの生活設計を立ててみます。」「何んといっても健康が一番なんですネ。」と話してくれました。



先生のひとこと

「彫刻刀を自分で工夫、発見しながら素直に使っている。一つひとつの線が生きていて、全体として非常にダイナミックな感じになっている。」阿部昭比古教諭



(株)酒井ステンレス研磨
工業所白河工場

(代表者 酒井寿俊)

所在地 大字泉崎字上狐山二〇、一 (0248-53-3848)

従業員数 一六名(男14名 女2名)・村内5名、村外11名

資本金 七〇〇万円

年間生産額 八億円

業種 金属加工業

業務内容 ステンレス製食品タンク及びステンレス製彫刻等

泉崎村に会社設立年月日 平成元年四月一日

わが社の
ミスターホフ



こんにちは
加賀沢 健一 (27才) です

二十一世紀を身近に感じる昨今、私たちを囲む環境は日々変化成長し、国内は言うに及ばず世界的に、怒涛の変貌が現実になされています。各産業分野におきましても、今後如何なる進捗変貌を遂げるか、又、市場の拡大と発展を計り知る事は難題な課題となつていふと思ひます。わが社の営業内容は、会社名の通り、ステンレスの製缶及び研磨です。

加工工場として、皆さまに御引き立て頂くと共に、皆さまの御要望に対して設計製作を以て応需出来るよう、更に工場の生産設備の充実をはかり頑張つていきたいと思ひます。又、一日も早く、地域のみなさんになじみ、愛される会社になりたいと思ひています。

マイ・ワッキング ⑬



水ぎょうざ 菊地光子 (字高柳)

●材料 (10~12個分)

ぎょうざの皮...10~12枚 豚ひき肉...100g 白菜のみじん切り...150g にらのみじん切り...40g ねぎのみじん切り...大さじ2 しょうがの絞り汁...小さじ1 酒...大さじ1 かたくり粉・ごま油・しょうゆ...各大さじ1/2 塩・こしょう...各少量 煮汁 (干しいたけ4枚 にんじん1/2本 青梗菜2株 スープ...カップ4)

●作り方

- ①ひき肉、白菜、にら、ねぎ、かたくり粉、調味料などを合わせ、粘りが出るまでこねます。
- ②しいたけは細切り、にんじんは細めの短冊切り、青梗菜は茎と葉に分け、それぞれ細切りにします。スープを煮立て、青梗菜の葉以外をこの中に入れて煮ます。
- ③皮で①の具を包み、②のスープで煮ます。調味は塩、こしょう。青梗菜はさつと煮る程度。好みのソースで食べます。

フォーユークラブ ⑬

婦人学級 油絵教室

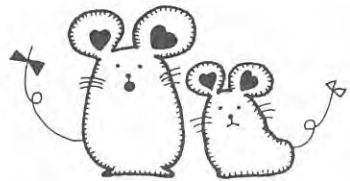
学級生 14名
指導者 木目沢 昭夫
実施日 毎月第1、第3水曜日
(PM 7:30~9:00)

5月から始めて今日で4回目、今日の題材は、静物。『絵が好き、自分で描きたい、という人ばかり。絵筆を握り、題材を見つめる目は輝やいています。和やかな中にも、ピーンと張り詰めた空気が感じられる教室です。』





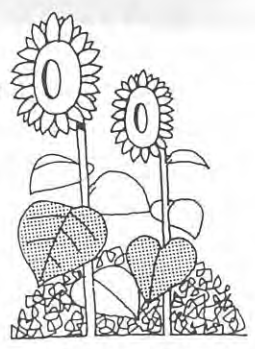
③



「バッチ」
広瀬 一二

このバッチは日本ソフトボール第一種公認審判員章です。これは三十七年前、昭和二十九年に白河市、西白河ソフトボール審判協会会長に就任した時に授与されたものです。以来、ソフトボール審判員として、約三十年、一千回以上の試合にこのバッチを胸に付けてきました。審判は、いかなる時にも「公平に・正確に・ルールに則って」行なわなければなりません。今思えば、この精神が私の人生のバック・ボーンになっていくように思えます。そのように私を常に導き、戒めてくれたのがこのバッチです。これは私にとって大事なものです。

川柳 ⑬



泉崎村ペンクラブ

たまされていても心地の良
いデスク 小山田吉光
うたたねの農婦に風のまろ
やかさ 松山 富夫
肩書を活かしたことが二度
三度 大塚 勇雄
梅雨晴間はち切れそうな水
着の娘 広瀬 一二
マイカーのバンクで気どる
女泣く 木野内良爾
点滴を枕ならべて老夫婦
佐藤 惣司

座布団をふつくら干して夏
休み 五十嵐正蔵
金婚を迎えて老いの花盛り
寺山 晴夫
求人難と同じ悩みの嫁不足
磯貝 吉男
肩の荷をおろし寄り添う花
の下 円谷 泰秋
農に生き農を継がない子に
苦勞 田崎久三郎
され唄に真実を聞く不遇の
日 鈴木 勝吉

菖蒲湯



民話

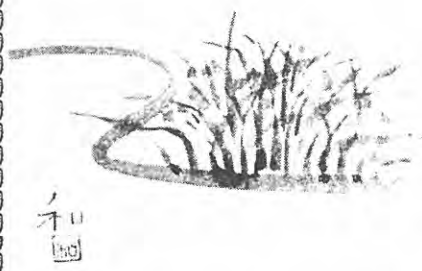
29

五月五日の男子の節句には、田畑の仕事をしない、節句に仕事をすると「怠者の節句働き」と揶揄される。五月節句には菖蒲と蓬を軒にさして悪魔を払う風がある。菖蒲の根を粉にして胃の悪い時生薬として飲むと胃がよくならずと言う。蓬は餅に入れクサモチとして搗いて食べる風習は昔からあった、胃腸を良くするためであった。

泉崎では五月には早苗をとって田植えをする。早乙女が夫々の家の軒に菖蒲を葺いて穢れを払い女は男を退りぞけて忌み屋で一夜を

「五月節句の菖蒲湯に入り菖蒲で鉢巻きをすると脳病みをしない」と言う。頭痛持ちだった此の妊娠しておった女は母親の戒めをすっかり忘れ、頭痛持ちの病気を治療しようと菖蒲湯に入浴してしまった。ところが入浴すると驚いたことに無数の蛇を分婉したと言われる。

泉崎字狐山②
藤田千代
「泉崎の民話」より



今月の行事

中央公民館

- 1日(木) 水泳教室 (3日まで)
- 2日(金) 空手教室 (毎週水)
- 3日(土) ゆずりは学級(ゲートボール交歓会)、少年部対抗卓球大会、サギ草展 (5日まで)
- 4日(日) 母と子の水泳教室 青少年健全育成ソフトボール大会
- 6日(火) 婦人学級(音楽)
- 7日(水) 婦人学級(油絵)
- 子ども文庫(毎週水)、俳句教室、青年教室(毎週水)



箭内陽子ちゃん(1才)
喜太郎・房子さんの三女(字踏瀬)

- 10日(土) 少年教室(キャンプ)、母と子の水泳教室
- 11日(日) 村長杯ソフトボール大会
- 13日(火) 婦人学級(生花)
- 17日(土) ペンクラブ例会
- 18日(日) 職域対抗ソフトボール大会、いちようの会
- 21日(水) 書道教室
- 23日(金) 高砂学級、家庭教育学級(幼稚園)
- 24日(土) 少年教室(スケート)
- 25日(日) 体協会長杯野球大会
- 27日(火) 移動図書館(おおぞら号巡回)

保育所

- 3日(土) 第十回花火大会及び一日保育所
- 8日・22日(木) お弁当の日
- 10日(土) すいかわり大会
- 13日(火) 16日(金) 夏期家庭保育
- 19日(月) おそうじの日
- 20日(火) 指導監査
- 23日(金) 誕生会
- 26日(月) 30日(金) 身体測定

泉崎幼稚園

- 9日(金) 夏季保育
- 21日(水) 夏季保育

泉崎一小

- 28日(木) 第二学期始業式
- 29日(金) 31日(土) 身体測定
- 31日(土) 夏休み絵画展
- 26日(月) 第二学期始業式
- 27日(火) 第2回愛校日(金)
- 29日(木) 校内水泳大会(3)(4)

泉崎二小

- 26日(月) 第二学期始業式
- 27日(火) 29日(木) 身体測定
- 28日(水) 緑化活動
- 29日(木) 校内水泳大会(下)
- 30日(金) 校内水泳大会(上)
- 31日(土) 里いも手入れ

泉崎中学校

- 1日(木) 初任者授業研修(白一小)
- 5日(月) 初任者授業研修(白二中)
- 10日(土) 県南吹奏楽コンクール
- 19日(月) 西白中教研研究会
- 20日(火) 教育課程講習会
- 26日(月) 第二学期始業式

おいわい
おめでとう
おめでとう
おめでとう

結婚おめでとう
ございます。

出産おめでとう
ございます。

- 泉崎字寄井十三番地 矢部 寿基 孝典・貴子
- 北平山字新田三十五番地 磯貝 郁未 春彦・孝子

謹しんでお悔み
申し上げます。

- 泉崎字山ヶ入五十五番地一 塚野 小南枝 八十四才
- 泉崎字鶴番小屋九番地の六 熊井 玄徳 九十才
- 北平山字堂ノ下六番地 菊地 吉郎 六十六才
- 泉崎字一枚橋四十四番地 小林 武男 五十八才
- 関和久字富内六十三番地 佐川 吉男 六十五才
- 泉崎字中ノ内三十六番の一 中野目 清一 八十二才
- 関和久字太郎ヶ岡一番地 田崎 寅三良 六十八才
- 泉崎字下宿六十九番地 佐藤 イエ 八十六才
- 関和久字上町九十四番地 田崎 ミチ 八十一才
- 踏瀬字三ツ屋前一番地 白石 チヨノ 八十二才
- 泉崎字根岸六番地 野崎 惣吉 八十才
- 泉崎字根岸七番地 野崎 兵衛 九十四才
- 泉崎字下夏針二番地 溝井 佐平 八十一才

〈村のうごき〉

(7月1日現在)	人口 3,353人	人口 3,451人	合計 6,804人	世帯数 1,605戸
(6月1日現在)	人口 3,338人	人口 3,454人	合計 6,792人	世帯数 1,601戸